



アンテナ 出東

発行/出東コミュニティセンター企画広報部 お問い合わせ/TEL 0853-62-5033 FAX 0853-62-5039

●世帯数 ……1,270戸
●人口 ……3,867人
男性/1,898人 女性/1,969人
令和5年4月30日現在

5月12日 金 斐川電工 ボランティア

斐川電工(斐川町直江)の社員14名の方が、ボランティア活動として出東コミュニティセンターを訪れ、普段なかなか手の届かない高い場所にある換気扇や照明器具の清掃・点検、エアコンフィルタの掃除、防災設備の点検など、手際よく手慣れた手つきで奉仕作業を行いました。同社では、町内他地区のコミセンなどの施設も、順次、清掃・点検を行っていきことにしており、出東コミセンを皮切りに継続的に活動していくことにしています。



作業終了後、永瀬センター長から「貴社ならではの活動をしていただき、大変ありがたく感謝します」とお礼の言葉が述べられました。

3月24日 金 8年後の開封にみんな集まれ!

コミュニティセンター事業



3月に卒業した出東小6年生31人が綴った「20歳の自分への手紙」を、担任の竹田先生、渡部先生、矢野先生からコミセンに託されました。

小学校卒業時に書いた自分あての手紙を、20歳の記念に皆が集まり開封しようという企画を昨年度からコミセンが企画。預かった手紙は2030(令和12)年の夏頃に、卒業生自らイベントを企画し開封してもらうことにしています。

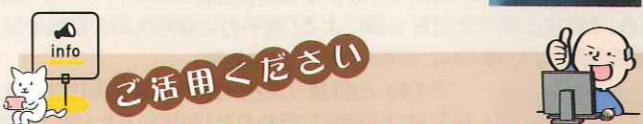
今、中学1年生となった皆さん、その日には全員が元気な姿で集まってくれることを願っています。

祝 おめでと〜 田植えをする弟を描いた図画で金賞受賞

JALまねコンクール

出東小6年の小林陽音君=三分市=が、昨年の夏休みの自由課題として描き、JAしまね主催の「みどりを守る児童画コンクール」に出品した図画「補植する弟」が、見事金賞に選ばれた。令和4年度は県内118校から応募があった中からの受賞。さらにこの作品を含めた県内6点が、全農中央会などが主催する第47回「ごはん・お米とわたし」図画コンクールに応募され、11月にあった選考会で陽音君の作品は優秀賞を受賞した。

作品は、安来市広瀬町にあるお父さんの実家で家族そろって田植えをした一コマを描いたもので、弟が腰を曲げて手植えする姿が鮮やかな色調で描かれている。「本当は絵を描くことよりも工作の方が好き」という陽音君だが、お母さんは「だんだん絵がうまくなっていく」と目を細める。これからも素敵な絵を描いてください。



Web会議用のパソコン、コミセンで使えます!

出雲市からWeb会議用のノートパソコンが配備されています。既にコミセンに整備されているWi-fi環境を使ってインターネットの閲覧・利用だけでなく、ZOOMなどを利用したWeb会議を行うことができます。ただしこのパソコン内で資料等のデータを保存することはできませんので、必要な方はUSBなどのデバイスをご用意いただく必要があります。

このパソコンをご利用される方はコミュニティセンターまでお申し込みください。また以下の利用は禁止とします。①館外への持ち出し ②インターネットの私的利用(ゲーム、ネット通販、SNS等) ③その他出雲市及びコミセンが判断し適当とみとめられないもの。

●皆さんの声を募集しています!!

斐川太極拳 出東教室

太極拳で健康寿命を延ばす

体をバランスよく使う太極拳は、体だけではなく心を落ち着かせる作用もあり、負担のかからない自然な呼吸をおこなうことでリラックスし、ストレスを軽減すると言われています。

健康器具を使わずに体に優しい運動を、いつでも、どこでも自分のペースで行うことができる太極拳は、ハードな運動ではないため、老若男女どなたでも気軽に始めることができるのが魅力です。

講師の土江恵子先生の指導の下、現在11名のメンバーで出東コミセンを会場に毎週水曜日に行っています。出東文化祭やふれあいサロンなどにも参加し、和気あいあいと楽しく活動しています。月会費は3,000円。関心のある方は是非見学にお越しください。



サークルさん++
いらっしや〜い
++
待ってま〜す!

The Voice

～皆さまからの声～
コロナ禍の中、各種行事等がほとんど中止となり、自治会の中には常会も開かれなところもあると聞きます。そのため、自治会の公民館が空き家状態になっています。家は閉じたままではどんどん朽ちていきます。せっかく建てた公民館を長持ちさせる為にも活用しないといけないと思います。そこで、公民館を地元住民に開放し集う場所として、公民館サロン。小学生の為に春休み夏休みに公民館塾を開いてはどうでしょうか。
(中略 60代 男性)

5月22日、コミセンで活動していらっしゃるカラーリングクラブ、そば打ち同好会、陶芸クラブの男性メンバー14人で、コミセン敷地内の草刈りを行っていただきました。また事前に自由画の会の方には、植栽の消毒をしていただきました。ありがとうございました。

皆様からお寄せいただきましたお志は、出東地区の福祉事業に活用させていただきます。ご厚志誠にありがとうございました。

錦織 秀仁 様(灘向)	永瀬 聡 様(三宅島)
錦織 好政 様(中洲新田)	新田 富美男 様(勝久寺)
玉木 幸康 様(大和)	福間 節夫 様(浜)

30年開催の国スポ島根大会で活躍したいと意気込む

三島さんは、出雲市園町のスケートリンク穴道湖遊館で練習する小学生から高校生のうち、中学生チーム「島根ブレイクジュニア」で活躍。そのうち三島さんを含む8人が中四国選抜として選ばれ、昨年12月に行われた中国・四国・九州大会ジュニアアイスホッケー大会で見事準優勝に輝いた。

島根県内では競技のできるリンクといえは湖遊館のみで、ジュニアチームは1チーム。練習試合は大人のチームと対戦するなど環境に恵まれないことから、この4月に岡山理科大学付属高校へ進学し、アイスホッケー部へ入部。高校では寮生活がスタートし、一人暮らしにも「不安より期待の方が大きい」とききこぼる。



写真=島根ブレイクジュニア



好きなポジションはキーパー!!
キラリ 出東びとど

3月下旬、北海道釧路市で開かれた全日本少年アイスホッケー大会(中学男子の部)、中四国選抜の一員に選ばれたのが、この春斐川東中を卒業した三島勸助さん(15)。三分市・北浜自治会。

人権について考えてみよう
人の値うち
江口いと
講演がある
何々大学の先生だと言えは内容が悪くても人々は耳をすませて聴き良かったと言う
どうやら人の値うちは肩書きで決まるらしい
名も無い人の講演には人々はそれわして帰りを急ぐ
どうやら人の値うちは学歴で決まるらしい
立派な家の娘さんが部活にお嫁に来るでも生まれた子供はやっぱり部落の子だと言われる
どうやら人の値うちは生まれた所によって決まるらしい
人々はいつの日このあやまちに気付くであろうか
思い込みや決めつけて人をみることはないか、振り返ってみよう

4月20日 木 トロッコ列車とループ橋ウォーク

出東地区社会福祉協議会



今年で運行を終えるJR木次線の観光トロッコ列車「奥出雲おろち号」に乗り、その後ウォーキングをする催しが行われ、20人の参加者が新緑の黄緑色とさわやかな風

を感じながら、奥出雲の一日を楽しみました。

コミセンから木次駅までバスで移動し、そこからトロッコ列車に乗車。三井野原駅で下車した後、道の駅奥出雲おろちループまで歩き、昼休憩を挟み出雲坂根駅までさらに歩いて下りました。

快晴の汗ばむ陽気の中、到着した出雲坂根駅では、桜が満開に迎え。名物焼き鳥をお土産に、普通列車に乗車し帰路へつきました。

参加者は「人気のトロッコ列車に乗れてよかった」「普段車でしか通ったことのないループ橋を歩くことができ、よい体験をした」と満足そうでした。

4月27日 木 新学期の交通安全教室を開催

出東小学校・交通安全協会出東支部・出東子どもの安全を守る会



出東小学校の交通安全教室に合わせ、普段見守り活動を行っている青パト隊の方々を知ってもらおうと全校生徒が校庭に集まり、当日参加した青パト隊5人が一人ずつ自己紹介を行いました。生徒たちは声を合わせ「これからもよろしくお願いします」と元気のよい返事でお礼を述べていました。

その後、3～6年生は交通安全協会出東支部や出雲警察署交通課の方々による自転車の安全な乗り方教室が行われ、自転車の点検や交差点での二段階右折、駐車車両の避け方など、実技を交えしっかりと学んでいました。

4月22日 土 本年度初の自治協会総会を開催

出東地区自治協会



本年度新たに選出された55自治会の会長が参加し、第1回出東地区自治協会総会がコミセンを会場に開催されました。会に先立ち、出東が人権・同和教育研究指定地区となっていることから、新年度の自治会長の方を対象に、出雲市同和教育啓発指導員の春日正信さんによる人権・同和教育の

研修が行われました。

総会では、持田自治協会長が「自治会加入率の低下や高齢化による維持・活動の難しさなどの諸問題が顕在化している中、いっそう皆様方のご協力をお願いします」とあいさつ。令和4年度の事業報告や5年度の計画・予算案など説明が行われ、全会一致で承認されました。その後、出東地区防犯協会などの各団体から本年度会費のお願いがあり、自治会長の方々は、納付期限などメモを取りながら真剣に話を聞いていました。

5月8日 月 紙ひこうき作って飛ばしたよ!

民生児童委員

民生児童委員の有志で出東こども園を訪問し、5才児を対象に「紙ひこうき」作りの体験活動が行われました。子どもたちが自分で作った「紙ひこうき」に名前や模様を書いて飛ばすと、夢や希望を乗せて高く遠くへ飛ばすことが出来ました。この体験が子ども達にとってよい思い出となり、心に残ってくれる事を願っています。

また、5月12日からの「民生委員・児童委員の日」活動強化週間には、コミセンにのぼり旗の掲出や、委員の皆さんが交差点に立つなどのPR活動が行われました。参加した民生児童委員のひとり「とても地味な活動ですが、皆さんのお役に少しでも立てればと日々頑張っています。これからもご理解ご協力をよろしくお願いします」と話していました。

5月11日 水 交通安全街頭啓発活動

出雲市交通安全協会出東支部

統一地方選挙の関係で、今年は1か月遅れで始まった春の全国交通安全運動の初日、県下一斉行動日として街頭指導が実施されました。

出東地区では、通勤で交通量が増える午前7時からカントリーエレベーター前の県道で、出雲市交通安全協会出東支部のみなさんによる啓発活動が行われました。

当日は各自治会選出の理事及び代議員のみなさん、警察署員などおよそ50人が沿道に整列、交通安全運動の横断幕とのぼり旗を片手に、ドライバーに対し安全運転を心がけてもらうよう呼びかけました。

5月25日 木 華やかなコミセン花壇に。寄せ植え会も併催

自主企画事業/環境部



コミセン花壇の植替えと寄せ植え会が開催され、環境部員10名と応募のあった5名の方が参加しました。コミセン花壇に色とりどりの花々を植えたほか、グリーンカーテンとなるヘチマとゴーヤを協力しながら植えていました。

担当のコミセン職員は「みなさんのおかげで華やかな花壇となり、この夏もきれいな花をみることができそうです。ゴーヤとヘチマも暑い夏に役割を果

たしてくれると思います。ありがとうございました」と感謝していました。

その後、屋内で寄せ植え会を行い、数種類の花を思い思いにプランターに植え込み、それぞれが個性あるものに仕上げていました。今回初めて参加した方は「早速持って帰って家に飾ろうと思います」と嬉しそうに話していました。

5月28日 日 災害に備え、楽しく学ぶ防災イベント開催

出東地区自治協会

豪雨の発生しやすい梅雨時期を前に、備えや避難について楽しみながら学ぼうと「防災・減災春まつり」がコミセンを会場に行われ、天気にも恵まれ家族連れなど多く来場者でにぎわいました。

当日朝8時からは全世帯に避難を呼びかける防災伝達訓練を行った後、各自治会長の方々はコミセンに集合。その後出雲市防災安全課による「原子力災害発生時の避難計画」について研修が行われ、避難経路の確認や注意点など真剣に学んでいました。

その後、出雲農林高校太鼓部による勇壮な演奏でイベントが幕開け。集会室や研修室で行われた「防災かるた」や「身近なもので防災グッズ作り」など来場者は興味のあるブースに向かい、「仮設避難所体験」では、重さの異なる3種類のリュックを背負い何キログラムかを当て、実際に避難する場合どれだけの荷物を持ち出せるかを体感していました。また、斐川医療生協によるAEDの使い方や心肺蘇生指導も行われ、参加した人はいざという時に備え真剣な様子で学んでいました。

屋外では、パトカーや消防車の展示試乗、出東消防団による水消火器を使った消火訓練のイベントのほかミニ消防車やミニ救急車が登場し、子どもたちの人気を集めていました。

飲食コーナーも大盛況で、出東そば打ち同好会のそばのほか、キッチンカーやコミセン喫茶、出農ショップ、また野菜の販売などが出店。早々に売り切れが出る店もあり、飲食を伴う久しぶりの地域イベントに、訪れた人たちは満足そうな様子でした。

午後からはフルート演奏、友輪舞人によるよさこい踊りが披露され、まつりを盛り上げていました。

当日、5月に発生した石川県能登地方を震源とする地震の災害義援金も募られ、11,161円が集まりました。日本赤十字社を通じ寄付されることになっています。

斐川医療生協によるAED指導

コラム 地域のために頑張ってます!! 青パト隊・出東子どもの安全を守る会



昨年秋に行われた町内青パト隊一斉出動式

「自分たちの地域は自分たちで守る」をスローガンに、隊員18人が日替わりで毎日、出東地区内の青色防犯パトロール活動を実施しています。児童・生徒の登下校時にあわせた時間の活動が中心となっていますが、地域の防犯・犯罪抑止の観点から、それ以外の時間も重要です。たとえば会社の帰宅時やスーパーの買い物の行き帰りなど、いつでも都合の良い時間にパトロールしていただくことも可能です。

車をお持ちで運転ができる方なら性別・年齢は問いません。子どもたちを不審者から守るため、安心して暮らせる出東地区にするために、一歩踏み出してみませんか。

お問い合わせは 出東コミュニティセンター TEL62-5033まで。

おじまします Vol.5 出東のお仕事拝見!

代表取締役 足立和久さん



有限会社 足立商店

足立商店の創業は昭和40年頃、個人商店として始まり、昭和48年には現在の有限会社の業態となった。主にプロパンガスや周辺機器、ガスリンや灯油などの石油製品を取り扱っている。代表取締役の足立和久さん(64)は平成20年に2代目社長として事業を引き継いだ。

最盛期の昭和50年代には、プロパンガスの契約件数が約700件あったが、平成20年頃から徐々に減少し、現在は約半数の350件ほどとなっている。オール電化に切り替わるなど、時代とともにエネルギーも変化していくと足立社長は話す。それでも、お客さまに新規の提案をして喜ばれたことを糧に、燃料インフラを提供するという地元で不可欠な仕事に誇りをもって取り組んでいる。

足立社長は、島根県中央LPガス保安センター理事長、島根県LPガス協会

出雲支部長などを務めるかたわら、今年度から出雲市交通安全協会出東支部長・出東地区交通安全対策協議会会長に就任。また出雲市交通指導員連絡会会長を長年務めるなど地域の交通安全活動にも深く関わっている。仕事上、重量物や危険物を慎重かつ安全に取り扱うことが求められるが、その考えは交通安全にも共通するものがある。なによりも地域に貢献できることが重要であるようだ。

「これまでに多くの良い先輩に巡り合えたことが現在につながっている」と話す足立社長は、息子で3代目の卓也さん(33)とともに、今日も地元インフラを提供するため汗を流している。

INFORMATION 有限会社足立商店 ●斐川町沖洲476 ●TEL 0853-72-3624 ●社員3名

『保寿寺』 ●斐川町中洲 445

保寿寺は天珪和尚(富田寺の開山)を勧請開山として、およそ300年前に創建されたと思われるが、実はそれより以前、室町中期にすでに存在していた。康正3年(1457)の年記のある古文書にその存在が記されている。

元の保寿寺は、密教系の鱒淵寺の末寺のひとつだったと思われるが、いつしか無住となり、その後、天珪和尚の弟子たちにより再興、興聖寺系の禅寺、安楽山保寿寺となった。

明治に入り小本山は大本山に合併となり、興聖寺は関係の深い相国寺の傘下に入り、保寿寺など出雲の富田寺一派も相国寺の末寺となった。

出東歴史散歩 Vol.5

大正5年(1916)鯉川郡斐川町大字沖洲勝久寺125にあった相国寺派保寿寺末となっていた常徳寺は廃寺となり、寺産、什具等を保寿寺に譲渡する。戦後農地改革で寺田を没収され、次いで区画整理で境内地を失ったため廃寺となり、本尊阿彌陀仏と歴代塔墓は保寿寺に移され受け継がれている。

きれいに整備された境内には、樹齢350年を超え出雲市指定天然記念物のクロマツ「延寿の松」や、地蔵を撫でると願い事が叶うといわれる「撫でなで地蔵」もあり、訪れる人を楽しませる。